



おにぎり通信

2021年8月28日（土曜） 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷・市ヶ谷周辺や銀座・日比谷公園、東京駅周辺などで生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

猛暑がつづいたかと思ったら、強い雨をともなった梅雨のような長雨がつづくなど、地球レベルの気候変動を実感させられる日々がつづいています。そして新型コロナウイルスも終焉の気配がありません。思い出すと、1年前の今日（8月28日）は安倍首相が持病の潰瘍性大腸炎の悪化を理由に辞任を表明した日でした。あれから1年、日々の暮らしが厳しさを増している人が増えています。子どもの手をつないで配食の列に並ぶ女性もいるといいます。入院できずに自宅で苦しんでいる人も増えています。「自助」「共助」「公助」の「公助」はどうなっているのでしょうか。

福祉行動は引き続きお休みします。ただし福祉事務所へ行くことを希望される方は、おにぎりを持参してうかがった際に、お声がけください。お声がけいただいた場合のみ、翌々日の月曜日に、福祉事務所まで同行いたします。

最寄の福祉事務所

中央区福祉事務所・中央区築地 1-1-1 中央区役所 4階

千代田区福祉事務所・千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 3階

わたしが一番きれいだっとき／街々はがらがら崩れていって／とんでもない
 ところから／青空なんかが見えたりした／わたしが一番きれいだっとき／まわ
 りの人達が沢山死んだ／工場で海で名もない島で／わたしはおしゃれのきっか
 けを落してしまった(中略)わたしが一番きれいだっとき／わたしの国は戦争
 で負けた／そんな馬鹿なことってあるものか／ブラウスの腕をまくり／卑屈な町
 をのし歩いた

上の詩は詩人・エッセイストの茨木のり子さんの『わたしが一番きれいだっ
 とき』という詩の一節です。戦時の女性の青春を描いた代表作で、たくさんの
 国語教科書にも掲載されています。ほかにも、こんな詩の一節があります。

もはや／いかなる権威にも寄りかかりたくない／ながく生きて／心底学んだの
 はそれぐらい／じぶんの耳目／じぶんの二本足のみで立っていて／なに不都合
 のことやある／寄りかかるとすれば／それは／椅子の背もたれだけ
 (『寄りかからず』)

19歳のときに敗戦を迎えた茨木さん。戦時中は黒とされたものが敗戦後に
 一転して白とされた時代。いかなる権威にも寄りかかりたくはないという、凜と
 した生き方はその体験から生まれたものです。この詩の一節は、一言で言うなら、
 「人のせいにするな」ということです。他者に対して言っているのではなく、「自
 分に対して厳しくあれ」と言っている茨木さんの姿はすっと立っている感じが
 します。残念ながら2006年に亡くなっています。

四ツ谷おにぎり仲間 連絡先 080-7967-8672
 連絡可能時間 毎週土曜日 午後3時～午後6時
 千代田区麴町6-5-1 聖イグナチオ教会

おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ
 箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりは
 かならずその日のうちにお召し上がり下さい。一人でも多くの方に召
 し上がっていただくため、おにぎりは一人一個でお願いいたします。

